

【三年生特別授業「戦争体験」講演…】

私たちが忘れてはならないこと！

いよいよ三月、三年生の卒業まで秒読みになりました。四日には公立高校の発表があり、これで全ての進路が決まることでしょう。今、卒業を前にして先輩たちがどんな気持ちでいるのか、一・二年生のみなさんも、ぜひ考えてみてください。特に二年生は、名実共に全校のリーダーとなるということを改めて考えておいてほしいと思います。

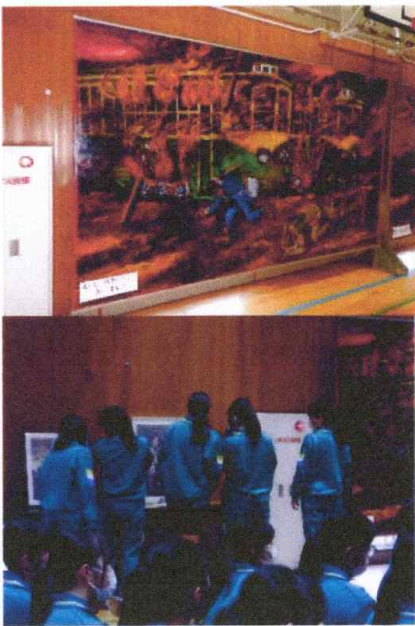
さて、そんな中ですが、先日三年生が特別授業を行いました。内容は、「戦争画と戦争体験」講演会でした。講師の吉野山隆英先生は九十三才になられます。ご高齢であり、ご講演の中でご自分の病状もお話しされていましたが、そんな厳しい状況を押してでも、どうしても中学生のみんなに自らの体験を、描かれた絵とお話を通して伝えたい。そんな強い思いが伝わってきた講演でした。三年生の感想を、ほんの一部ですが紹介します。

・戦争の悲惨さを感じた。絵ですら恐怖を感じたのに、本当に戦争を体験した人達は、言葉にできないような悲惨さや恐怖を感じたんだろうなと思った。当時の日々を思い出して絵に描くと書いては辛いと思うけど、書いていった戦

争の悲惨さを次の世代に語りついで行くのは大切だと思った。

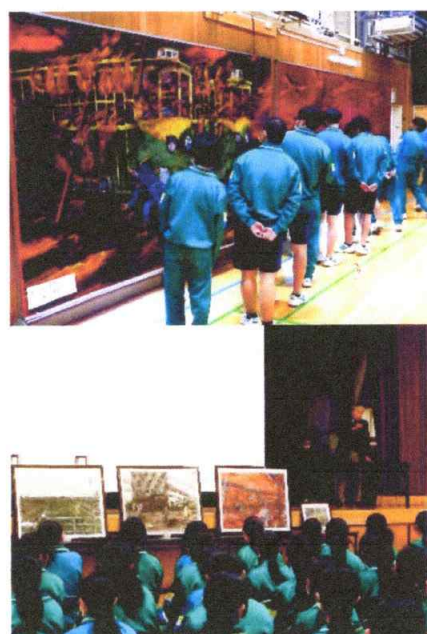
・体育館へ入ったとき真っ先に絵が目に入ってきました。リアリティがすごくあって、その時代にタイムスリップしたように感じました。戦争を体験したことのない私たちにとつて、それはほんやりと抽象的なものでしかありませんでしたが、今回の講演と絵によって、急激に具体性を持ち始め、そしてそれは実際にあったことなのだと思身にしみて実感することができました。

・自分が思っていたより、戦争ははるかに悲惨なんだなと感じました。地下室で死に際の人が横たわっていたり、死者が川に流されていくなど、想像もできないことがあったんだと学びになりました。最後の「信頼できる友達を作る」「これからの未来を担う若者」という二つの言葉が印象に残りました。亡くなってしまう人達の分まで懸命に生きようと思いました。今日の講演がなかったら、戦争について浅い考えのままだったと思います正しい光景を知らないまま生きて



いたと思います…後略

今も世界のどこかで戦争が行われています。そんな世界になることだけは防ぎたい、次の時代を担うのは皆さん自身です。



【三年生による感謝の会…】

先輩たちの偉大さを改めて感じました！

昨日は三年生による、保護者の方への感謝の会でした。会場の関係で保護者の方に送る会当日起こしただけなので、その為に開いてくれた会です。限られた時間だったけれど、三年生の心からの感謝の思いはきつと伝わったのではないのでしょうか。久しぶりに学年合唱も聴かせてもらいました。ものすごく力強く美しい響きの合唱は、さすがでした。偉大な先輩たちの力を見せつけられた感じでした。今日の送る会が、益々とても楽しみになりました。あと一週間で卒業式…、なんだかとてもさみしい。終曲に向けてガンバろう！！